

「基盤地図情報等パラメータ補正ツール」操作説明書

○概要

基盤地図情報等パラメータ補正ツールは国土地理院で提供している「PatchJGD」の座標標高補正パラメータ（標高補正パラメータファイル）を読み込み、入力した DEM1A、DEM5A、DEM5B 及び DEM5C を標高補正後の標高に補正、又は補正前の標高に逆補正を行なうツールです。

○動作環境

CPU	Intel (R) Core (TM) i5-1145G7 (2.60GHz)
メモリ	8GB
HDD	100GB の空き
OS	Microsoft Windows10 pro 64bit

※本ソフトウェアは上記の環境で動作することを確認しております。

○ソフトウェアの実行方法

DL した ZIP 形式のファイルを解凍し、EXE 形式の実行ファイルを任意のフォルダに配置し、ダブルクリックで実行してください。

「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合

本ソフトウェアを実行する際「Windows によって PC が保護されました」と表示される場合があります。このメッセージは、Windows の SmartScreen 機能によるもので、一般的に「署名のない実行ファイル」や「初めて実行されるファイル」に対して警告を表示する仕組みです。

実行ファイルは、適切な環境でビルドされ、ウイルスやマルウェアが含まれていないことを確認しているため実行することに問題はありません。

実行するには「詳細情報」ボタンを押し、「実行」ボタンを選択してください。

○操作方法

基盤地図情報等パラメータ補正ツール

①補正処理に用いるパラメータファイルを選択

パラメータファイル

パラメータファイルを選択

②読み込む入力ファイルのファイル形式を選択
※SHP ファイルは数値地図（国土基本情報）の5mメッシュ標高のみ対応しています。

GML (*.xml)

入力ファイル

③入力ファイルをファイル単位で追加する場合は「ファイル追加」、フォルダ単位で追加する場合は「フォルダ追加」を選択
※「ファイル追加」と「フォルダ追加」は併用できません

選択削除

ファイル追加

フォルダ追加

出力フォルダ

出力フォルダを選択

補正
 逆補正

変換結果

実行

終了

